

指定管理者管理運営状況評価

1 概要

(1) 施設の名称

施設名	県立手賀の丘少年自然の家
指定管理者	アクティオ株式会社
指定管理期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日
評価対象年度	令和元年度
第三者評価の有無（今回）	無
施設所管課	教育庁教育振興部生涯学習課

(2) 施設の設置目的等

設置目的	少年自然の家は、団体生活を通じて少年を自然に親しませ、少年の健全な育成を図ることを目的とする。
指定管理者が行う業務の範囲	①少年の団体生活訓練に関すること。 ②少年の自然観察、自然探求その他の自然に親しむ学習活動の指導に関すること。 ③少年の体育、レクリエーション及び野外活動の指導に関すること。 ④少年教育指導者の研修に関すること。 ⑤前各号に掲げるもののほか、少年自然の家の目的を達成するために必要な業務。

(3) 施設の運営状況

年度	利用者(人)	事業費等の内訳(千円)					
		指定管理料(A)	その他維持管理費(B)	利用料金(C)	事業費総額(A+B+C)	使用料等県収入(D)	県の収入(D-A-B)
29	59,309	81,479	1,610	10,048	93,137	41	-83,048
30	57,777	81,373	1,066	9,887	92,325	41	-82,397
元	54,884	82,826	682	9,408	92,916	41	-83,467

※その他維持管理費・・・維持補修費、委託料、工事請負費、備品購入費(指定管理料に含まれるものを除く)

2 評価結果

(1) 管理運営状況評価

評価項目	評価	評価理由等
管理業務の実施状況に関する事項	施設の設置目的・法令等の遵守等	A ・法令等を遵守し、施設の設置目的に沿って適切に実施されている。 ・個人情報に関する規定の作成や研修等、適切な取組を行っている。
	安全性の確保	A ・日常的に安全管理に努めている。 ・危機管理マニュアルが整備されており、安全面の配慮及び非常時への対応も適切に行っている。
	適切な管理運営	A ・委託業者による清掃や、職員による環境整備を定期的に行い、適切な管理運営を行っている。 ・受付窓口が整理整頓され、利用者に対し開かれた雰囲気を保っている。

	適切な財産管理	S	<ul style="list-style-type: none"> 施設の保守点検が定期的に確実になされている。 施設・設備の維持管理について、計画に基づき、必要箇所の修繕を適切に行っている。
事業の企画運営に関する事項	事業の実施 (必須事業)	A	<ul style="list-style-type: none"> 主催事業は計画的に実施されている。 施設の特色であるラート体験や、施設周辺の自然環境を生かした事業に取り組んでいる。
	サービスの向上 地域の連携等	S	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に地域等の自治体・団体と連携を図り、特色ある主催事業や共催事業を実施している。
施設利用状況に関する事項 利用者数稼働率 料金収入		A	<ul style="list-style-type: none"> チラシやポスターの工夫が見られ、広報活動に積極的に取り組んでいる。 利用料金収入は適切に管理されている。
運営体制		A	<ul style="list-style-type: none"> 全てのスタッフが幅広く業務を担当する体制をとり、業務の効率化と利用者サービスの向上を図っている。 職員の育成も適切に行われている。
収支状況 財務状況		A	<ul style="list-style-type: none"> 適正な収支決算がなされている。 財務状況について、特に問題はない。
利用者意見の反映 利用者満足度		S	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の意向等を十分に把握し、改善に生かしている。 アンケートの回収率が前年度より上回り、利用者の満足度も平均99.5%と大変高い値を示している。
総合評価		良好	<p>各項目の合計得点 23点 / 30点満点 (76.6%)</p> <p>各項目の評価点数の平均点 2.3点</p>

(2) 特記事項

特に評価される点	<ul style="list-style-type: none"> 利用者への影響を第一に考えた計画的な修繕を実施し、施設・設備の維持管理を適切に行っている。
次年度に向けて改善が望まれる点	<ul style="list-style-type: none"> 近隣の学習資源(例:手賀沼)を生かした、より充実した体験活動プログラムの開発をすることが望まれる。 危機管理マニュアルの定期的な見直し及び更新が望まれる。
前年度評価で改善が望まれると指摘された点とその改善状況	<p>(改善が望まれるとされた点)</p> <ul style="list-style-type: none"> より充実した体験活動プログラムの開発をすることが望まれる。 戦略的な広報、閑散期対策などの具体的な方策を立て、利用状況の改善が望まれる。 <p>(改善状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> 主催事業では、自然体験や創作体験等の活動プログラムを多く実施することができた。また、地域と連携した共催事業も数多く取り入れている。 閑散期対策として、「自然の家まつり」は成果を挙げている。

(3) その他

第三者評価におけるその他の意見	<ul style="list-style-type: none"> 第三者評価は実施せず(平成30年度に実施)
-----------------	---